

小国シネ・ホール

6.6 土

10:00-10:50 オープニング上映 <入場無料>

50min Q&A あなたの物語が幕を開ける

- 開幕のご挨拶 + 『リライト』

映画祭のはじまりを、一緒に。
「自分のまちを、自分たちの手で表現する」その想いが詰まった一本を、はじまりを飾る特別上映としてお届け。

11:00-12:05 フードドライブ上映 <フード持参で入場>

65min Q&A 手渡すやさしさ

- 『あおとみどり』

フード持参で入場無料
未開封・常温保存可能な食品をご持参ください。(例:缶詰・レトルト・お菓子など) ※持参なしの場合は500円

13:30-15:00 第1プログラム / 心が満ちていく

90min Q&A

- 『LOCA!』
- 『たまには蜂蜜を。』
- 『ホノルル』

15:30-17:10 第2プログラム / 自分の中の火を灯す

100min Q&A

- 『竹とタケノコ』
- 『河童になる』

18:00-19:15 第3プログラム / つながる記憶

75min Q&A

- 『ものがたりの予感』
- 『ばあちゃんの引っ越し』
- 『小国町無形民俗文化財「宮原祇園社獅子舞」』

6.7 日

10:00-12:20 杖立温泉まち歩き

140min 地元ガイドによる まち歩きツアー

杖立温泉の風景や歴史を巡るまち歩き企画。
映画祭のもうひとつの楽しみとして、ぜひご参加ください。
※一般参加可能 / 事前予約制
※詳細はウェブサイトにて順次公開

13:00-15:30 バリアフリー上映

150min Q&A 伝えられない想いがあふれます。

みらいシネマ
FUKUOKA

- 『ぼくが生きてる、ふたつの世界』

みらいシネマ福岡との共催上映 / 字幕・音声ガイド対応
日本語字幕付き、イヤホン音声ガイド付きで、映画をお楽しみいただけます。(イヤホン無料貸出あり)
呉美保監督、港岳彦さん(脚本)によるアフタートークを実施します。

16:00-17:15 第4プログラム / 想いのとなり

75min Q&A

- 『さよなら来福亭』
- 『AIM』
- 『英雄歯』

17:40-19:00 クロージング上映 / めぐる季節、つづく光

80min Q&A

- 『アナログ坊やとおたずね老婆』
- 『霞始めてたなびく』
- 『国道7号線』

ゲスト来場予定(4月3日現在)

チケット情報 | 当日会場にて販売

フリーパス

2日通し券 ¥3,000 (税込)

1プログラム

各上映ごと ¥1,000 (税込)

1DAYパス

1日通し券 ¥2,000 (税込)

※大学生・専門学校生 半額
※高校生以下無料
※入場時に学生証の提示をお願いします
※障がい者手帳提示で半額

映画祭に関するお問い合わせ

070-7660-1929

ogunigumi@oguni-eiganomori.com

映画祭に関するお問い合わせは、事務局までお願いいたします。
小国シネ・ホールへの直接のお問い合わせはご遠慮ください。



Web



instagram



X

みらいシネマ
FUKUOKA

シネファ

福岡インディペンデント映画祭

ogunist

HOWDEE



おぐに映画の森

詳しくはウェブサイトから

小国を旅する映画の祭典

おぐに映画の森

Oguni Forest of Films 2026

2026. 6 / 6 sat. 7 sun.

会場：小国シネ・ホール

お問い合わせは 事務局 (070-7660-1929) まで

小国を旅する映画の祭典 第2回 おぐに映画の森 2026 / Oguni Forest of Films 2026

主催：小国組(おぐに映画の森 実行委員会) お問い合わせ電話番号 / 070-7660-1929 (原田)

共催：みらいシネマ福岡 協力：小国シネ・ホール、合同会社シネファ、福岡インディペンデント映画祭、ogunist、HOWDEE

会場：小国シネ・ホール(熊本県阿蘇郡小国町宮原1988-7)

主催：小国組(おぐに映画の森 実行委員会)

presented by fidff



オープニング上映
入場無料

リライト Q&A 6.6 10:00

25min | 2024 監督：坂本 蓮
工事現場で働く青年・隼人は、夢も希望も見失い、生きる意味すら感じられずにいた。「もう終わりにしよう」—そう思ったある夜、ふと目に入ったライブのポスター。そこで耳にした一曲が、隼人の人生を大きく変えていく。過去と向き合い、もう一度前へ進むための物語。実話をもとに描いたヒューマンドラマ。



FIDFF2025 ノミネート

LOCA! Q&A 6.6 13:30

20min | 2025 監督：うったまー | みやの
舞台は文明崩壊後、自然に覆われた世界。人々は旧文明の遺物を使いながら暮らしている。少女ハルとタモは各地を旅し、気ままに生きていた。ある日、長い階段の先で古びた電車を見つけ、興味のままに乗り込むと突然動き出す。こうして2人の新たな旅の日常が始まる。



FIDFF2025 応募作品

ホノルル Q&A 6.6 14:10

19.36min | 2024 監督：村口 知巳
余命いくばくもないユキは、ある日ビデオカメラを持ち出し、夫、ナオトを撮りはじめる。自分がここに存在しないように振る舞ってと、ナオトに指示する、ユキと、その突然の行動に戸惑う、ナオト。ユキがナオトを撮る、その理由とは・・・



FIDFF2025 俳優賞ノミネート

河童になる Q&A 6.6 16:10

26.43min | 2024 監督：山科 晃一
コロナがきっかけでバーの経営が立ち行かなくなった篠崎は、実家で母親の由紀子と2人暮らし。心機一転しようと役者を目指し始めた頃、かつてのバーのスタッフであったタネと出逢い...



フードドライブ上映
入場料は日持ちする食べ物

あおとみどりと。 Q&A 6.6 11:00

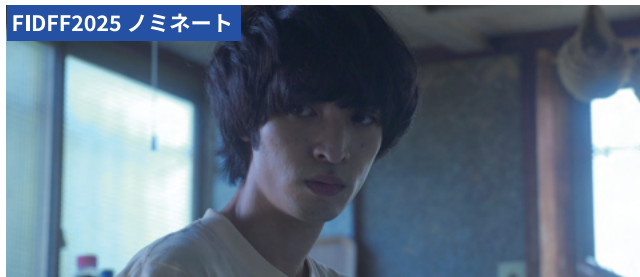
43.06min | 2024 監督：岩崎 賢作
食品会社で働く営業部員の碧(あお)は、フードバンクのボランティアに渋谷参加することになる。エリート意識の高い碧(あお)だが、そこで事務員として働く碧(みどり)や、他のボランティアの人達と交流することになり、生活困窮者支援の意義を知ることになる。



FIDFF2024 俳優賞ノミネート

たまには蜂蜜を。 Q&A 6.6 13:50

20min | 2023 監督：邊 拓耶
冬の朝、台所に差し込む光の中、やかんの湯気が立ちのぼる。そんな日常に、3年ぶりに弟が帰ってくる。夢を追い家族と距離を置いた弟と、静かに見守ってきた兄、そして愛で包み込む母。それぞれの想いが交差する。全編ワンカットで描く家族の愛の物語。



FIDFF2025 ノミネート

竹とタケノコ 6.6 15:30

37.08min | 2024 監督：川上 信也
江戸時代発祥の手筒花火に魅せられた晃。その息子・悠人は発達障害を抱えながらも絵の才能を持つが、父は関心を示さない。ある日、晃は末期の膵臓癌と診断される。母から父の想いを知った悠人は、父のために手筒花火を打ち上げる決意をする。



FIDFF2025 ノミネート

ものがたりの予感 6.6 18:00

19.40min | 2024 監督：鯨岡 弘識
考古学を研究する大学講師・中山 康二は、県の依頼により千年以上前の遺物を見つけるべく、冬の沼で発掘作業に参加していた。ある日、「その沼に“ビー玉”を落とした」という少年と出会う。それは、康二の人生をほんの少しだけ変えるかもしれない物語になっていく。



FIDFF2025 ノミネート

ばあちゃんの引っ越し 6.6 18:20

11.25min | 2025 監督：北村 伊知郎
96歳になったばあちゃんが、長年住み慣れた佐世保を離れ、母が住む福岡の家に越すことになった。じいちゃんに先立たれたあと20年続いた一人暮らしも、これでおしまい。引っ越しの日、ばあちゃんが語ったこと。



バリアフリー上映

ぼくが生きてる、ふたつの世界 Q&A 6.7 13:00

105min | 2024 監督：呉 美保
宮城の港町で育った大は、耳のきこえない両親のもとで母の通訳を“ふつう”として過ごしていた。しかし周囲の視線に戸惑い、母を疎ましく思うようになる。葛藤を抱えたまま20歳で東京へ旅立つ。家族と自分の間で揺れる成長の物語。



FIDFF2021 優秀作品

AIM (エイム) 6.7 16:30

21.55min | 2021 監督：GAZEBO
母親が亡くなって以来、部屋に閉じこもりゲームに明け暮れる23歳の舞。たった一人の家族である父親の史人は、娘との会話もなくただ部屋から聞こえてくるのは銃声ばかり。娘の将来を案じているが自分ではどうすることもできず、インターネットに相談を投稿するのだった。



FIDFF2025 ノミネート

英雄齒 Q&A 6.7 16:50

4.06min | 2024 監督：飯塚 貴士
永久歯になりたい乳歯は旅先で歯の抜けたボクサーと出会う。足りないものを補い合った二人は共に歩み始める。



FIDFF2025 短編優秀賞

アナログ坊やとおたずね老婆 6.7 17:40

20.48min | 2024 監督：乾 拓歩
スマホを持たない小学生サナオは、友達に輪に入らず孤独な日々を過ごしていた。ある日、指名手配の張り紙を見つけ、報奨金でスマホを手に入れようと考え。賞金首と思われる老婆を追い、ついに発見。しかし、その老婆はどこか様子がヘンテコで...



FIDFF2025 ノミネート

霞始めてたなびく 6.7 18:00

5.10min | 2025 監督：山中 千尋
東風が吹き、しみずあたたかさをふくむ。風景は境界なく混ざり合い、やがて山は眠る。



FIDFF2025 グランプリ

国道7号線 Q&A 6.7 18:05

30.41min | 2024 監督：全 辰隆
秋田の国道7号線沿いの町で、母と営んできたパチンコ店を畳むヨシボ。引退を機に母を海外旅行へ誘い、旅の中でその想いに触れる。帰国後、北朝鮮から母宛の手紙を見つける。やがて離れて暮らす娘ナナが現れ、手紙をきっかけに韓国へ向かう旅に出る。



ローカルセレクション

小国町無形民俗文化財「宮原祇園社獅子舞」 6.6 18:30

13min | 2025 Q&A 監督：増井 翔太
小国町で300年以上続くといわれる「宮原祇園社獅子舞」。少子高齢化やコロナ禍により一時は存続が危ぶまれた。2025年、すこしずつあり方を変えながらも伝統をつないでいく人々の記録。

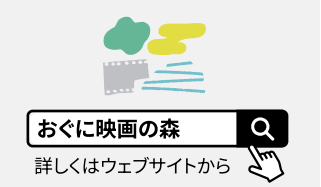


FIDFF2025 俳優賞受賞

さよなら来福亭 6.7 16:00

28.42min | 2024 監督：寺谷 千穂
はなのお父さんは「中華蕎麦 来福亭」を閉めることに。閉店日、最後にやってきたのはお父さんの元弟子である慎太だった。はなはきっと一生忘れることのない来福亭での最後の時間を過ごすのだった。

Q&A Q&A セッションあり
上映後、監督・出演者が登壇し、作品についてのトークショーとQ&Aセッションを行います。



おぐに映画の森

詳しくはウェブサイトから

お問い合わせ

070-7660-1929